

次世代分科会の取り組みについて

分科会設立の背景・目的

市民・事業者・市が一丸となって、地球温暖化の解消に向かい取り組みを実行することを目的として設立した千葉市地球温暖化対策地域協議会では、市民・事業者・市がメンバーとなり、地域の特性に応じた自発的な活動を行っている。現在 4 つの分科会（市民啓発、事業者啓発、再生可能エネルギー、広報）を設置し、啓発活動としてエコメッセなどのイベントへの参加や、環境フェスティバルを開催している。

今回地域の若い市民が自発的に活動に取り組むための「次世代分科会」を立ち上げ、若い市民の代表として、環境問題に対して意識の高い学生が中心となって、自由な発想で活動計画を定め、さらなる温暖化対策を推進していく。

概要

市内の大学生が共同して啓発活動等を行っていく。年間の活動計画についても学生主体で策定する。今年度（平成 28 年度）は啓発品の作成を行うこととし、啓発品の内容、具体的な活用方法についても学生の間で協議を行うものとする。

場所

市役所内打ち合わせスペース、千葉大学内、千葉商工会議所打ち合わせスペース等（ミーティングごとにメンバーが集まりやすい会場を設定する予定です。）

内容

〈平成 28 年度〉

①啓発品の作成

- ・温暖化防止に係る啓発品について、市民の方に喜んでいただける、手に取ってもらえる啓発品のアイデア出しを行い、作成する。
- ・啓発品は地域協議会が開催・参加するイベントにて配布を行い、場合によってはそれ以外の場での配布も検討する。

〈啓発品の配布を予定しているイベント〉

環境フェスティバル（6 月）、エコメッセ（9 月）、区民祭り（10～11 月）など

②次世代分科会の活動計画の作成

- ・29 年度の活動計画を作成する。

③引き継ぎの作成

- ・今年度の活動終了後に振り返りを行い、次年度（平成 29 年度）に活動する学生への引き継ぎ資料を作成する。

〈平成 29 年度〉

①平成 29 年度企画案の協議

- ・平成 28 年度に作成した活動計画、引き継ぎに基づいて、平成 29 年度の企画について協議を行う。

②啓発品の活用法の検討

- ・引き継ぎに基づき、啓発品の活用法や配布計画について具体的に決定、実行する。

活動経費

- ・28 年度活動経費は 10 万円。
- ・啓発品作成経費として上限 50 万円程度の充当は可能。(29 年度予算)

スケジュール

2017 年 1 月中旬 第 1 回ミーティング

- ・イントロダクション
- ・協議会の活動や活動計画についての説明

2017 年 1 月下旬～3 月末 第 2 回～第〇回ミーティング

- ・啓発品について案出し、決定、発注
- ・次世代分科会の活動計画について協議、決定

※ミーティングの開催回数は未定だが、企画の進行具合を見ながら 3 回～5 回程度を想定

2017 年 3 月末 28 年度の振り返り

- ・次年度のメンバーが企画を行う際の参考資料となる引き継ぎ書を作成

2017 年 4 月～ 29 年度の活動開始

- ・29 年度企画案について協議
- ・啓発品の活用（各イベントでの配布など）

参考：これまでに作成した啓発品の一例

扇子

クリアファイル

マグネット

保冷剤入りのハンドタオル

竹ふきん